

## 会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	平成 2 6 年度第 3 回スポーツ推進審議会
開催日時	平成 2 7 年 3 月 2 日(月) 1 8 時 3 0 分～2 0 時 2 0 分
開催場所	高松市役所 3 階 3 2 会議室
議 題	高松市スポーツ推進計画(案)について ア アンケート内容について イ 高松市スポーツ推進計画基本方針(案)について
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	内海委員、大西委員、十河委員、田中委員、田村委員、西山委員、野崎委員、松本委員、森委員、渡辺委員(欠席 1 名)
傍 聴 者	0 人 (定員 5 人)
担当課および 連絡先	スポーツ振興課 839-2626

### 会議経過及び会議結果

#### 【会議の経過】

- (1) 大西市長の挨拶の後、市長から野崎会長へ高松市スポーツ推進審議会条例第 2 条第 1 号の規定に基づき、高松市スポーツ推進計画(案)を諮問。
- (2) 事務局から会議成立の報告をした後、会議の公開について委員会に諮り、審議した結果、公開を決定。
- (3) 事務局から議題「高松市スポーツ推進計画(案)についてア アンケート内容について」高尾課長から説明。
- (4) 事務局から議題「高松市スポーツ推進計画(案)についてイ 高松市スポーツ推進計画基本方針(案)について」高尾課長から説明。

委員から意見を聴取した。

項目ごとの主な意見、質疑等は次のとおり。

#### 議 題

#### 議 案

高松市スポーツ推進計画(案)について

## 会議経過及び会議結果

### ○ア アンケート内容について

#### 【A委員】

前回いろいろな意見をいただいた。どんなことでもいいので、意見をいただきたい。

スポーツの定義について、試合の応援やサポートを含めたものは、スポーツの定義に今回は入れないということだが、支えるスポーツという言葉が、スポーツ振興基本計画にも中学校の体育の学習指導要領のなかでも出ているが、どのようなところから、支えるスポーツを定義から除くという判断をしたのか。

#### 【事務局】

前回の審議会のときに、前計画のP3・P29に記載されている内容の整合性がとれていないのではないかと、という意見をいただいて、高松市のスポーツの定義として打ち出していく部分としては、支えるスポーツを否定するのではないが、定義については、文科省が出している、身体を使った運動すべてを含むまでとなっているので、定義については、こういう内容にしたい。

また、先程の支えるスポーツについては、アンケートの中に設問を設けているので、その中で検討していきたいと思う。

#### 【B委員】

実際にアンケートをやってみたが、P2のⅡ「スポーツ活動の状況について」のところ、回答欄が設問と合っていないところがあった。それと、Ⅱの⑤の「スポーツを行った理由はなんですか」の下に、⑨「行わなかった」の設問を、入れたほうがいいのではないかと。

また、Ⅱの⑥⑦⑧の設問については、スポーツの必要性を聞く設問なので、今は、「行った」方を対象に聞く設問になっているので、この必要性を聞く設問は、回答者全員に聞く設問したほうがいいのではないかと。

#### 【A委員】

設問の順番を整えた方がいい。

#### 【事務局】

前回のアンケートでは、⑤「スポーツを行った理由はなんですか」の下に、「行わなかった」の設問があった。必要性を聞く⑥⑦⑧の設問をこの場所にいったので、このようになってしまった。

「行わなかった」の設問については、前回同様、⑤の下に「行わなかった」の設問を移動させ、その後、必要性を聞く設問に変更する。

#### 【A委員】

⑧の「スポーツを行って得られたものについて」の設問については、「行った」方に聞く設問なので、⑤「スポーツを行った理由はなんですか」の下にしたほうがいいのではないかと。その次に「行わなかった」の設問がきたほうがいいのではないかと。

#### 【事務局】

必要性を聞く設問の⑥と⑦をⅡの一番初めに持っていくのはどうか。

「スポーツ活動について」のすぐ後にこの設問があって、必要性を聞いたうえで、「1年間スポーツを行いましたか。」の設問にした方がいいのではないかと。

連動させるには、無理があると思う。

## 会議経過及び会議結果

### 【A委員】

この必要性の設問については、前回の審議会の時に御意見のあったところなので、必要性の設問⑥、⑦が「スポーツ活動の状況について」の一番最初に来て、そのあとに、「1年間にスポーツ活動を行いましたか。」の設問、⑧の得られたものの設問が、⑤の後にきて、そのあとに「行わなかった」人の設問がくるように変更したほうがいいのではないか。

### 【B委員】

今のでいいと思う。ここで必要なことは、スポーツを行わなかった人がなぜ行わなかったかの理由を調査して、そこを今後、どう整備していくかになる。行わなかった人の中には、スポーツが必要だと感じていない人、スポーツ以外の文化的なものをしている人、体育に関して関心がない人もいる。必要性の設問については、最初でも最後にきてもいいと思う。整合性がとれるようにすること。また、なぜこの設問をしているのかということを確認する必要があるのではないか。

### 【C委員】

「行わなかった」という表現は適切ではないのではないか。わかりづらいのではないか。

### 【事務局】

「行わなかった」の記載については、Ⅱの(1)の2のところに入っている。

### 【C委員】

それなら「行った」の設問の終わりに「行わなかった」の設問を持ってこないといけないのではないか。内容を整理しないといけない。

### 【事務局】

数字については、順番を入れ替えて整えて、修正をします。

組み立て方については、「Ⅱ. スポーツ活動の状況について」の項目のなかで、スポーツの必要性の設問を、最初にいれるか、スポーツ活動を行ったかどうかの設問を聞いた後にいれるか、どちらかだと思う。

### 【D委員】

Ⅱの⑨に「スポーツを行わなかった理由は何ですか」という設問があるが、スポーツ振興基本計画の中では、スポーツをしていなかった人に、いかにスポーツをしてもらうかということを目指していた。前回の考えかたでいくと、ここの設問の回答は一つではダメだと思う。なぜスポーツをしなかったかという理由は、複数あると思うので、幅広く聞くのであれば、複数回答できるようにしたほうがいいと思う。

### 【C委員】

「複数回答可」みたいな言葉をいれてどうか。

### 【D委員】

スポーツをしなかった理由が2、3個あるのであれば、幅広く答えてもらえるようにしてもいいのではないか。

### 【A委員】

回答用紙の回答欄を変更しないといけない。

## 会議経過及び会議結果

### 【D委員】

一つの回答にしてしまうと、他にもスポーツを行わなかった理由があるのに、その意見が消えてしまうこともあると思う。

### 【A委員】

回答欄としては、複数回答ができるように、回答用紙に番号を記載し、丸を付けるようにするなど、回答しやすい工夫をしてほしい。

### 【事務局】

回答欄に数字を並べるということで対応する。

### 【A委員】

選択肢の中で、もっともスポーツを行わなかった理由の、強いものを3つ選択するという方法もある。

### 【事務局】

前回のアンケートが1つの回答だったので、統計的な問題だけで、それは大丈夫だと思う。その代り、回答数が増える可能性がある。

### 【A委員】

前回との比較をする際には、注意しないといけない。

### 【D委員】

スポーツをしてない人がなぜしないかということをつかむべきではないかと思う。理由がわかるなら、3つ選択でも、すべてに選択でもいいと思う。集計の際に、煩雑にならないようにしないといけないが、回答が一つというのは、アンケートとしては、不十分かなと思う。

### 【事務局】

複数回答にするのであれば、制限を設けるのはよくないと思うので、複数回答可にして、前回の結果と比較をするときに注釈で、今回については、複数回答にしましたということ、一文入れて対処する。今後は、複数回答の方がいいと思うので、今回については、そういうことで整合性をとっていききたいと思う。

### 【D委員】

現在の定義をみたら、散歩も含むとなっているので、若い人がみたら、散歩はスポーツじゃないと思うかもしれないが、年齢層に関わらず、幅広い意見を吸い上げていきたいと思う。

### 【事務局】

前回との変更点がわかるように、注釈をつけて等の比較をして、Ⅱの⑨の「行わなかった」の設問については、複数回答可ということで制限を設けないという形で実施する。

### 【B委員】

このアンケートの、方向の先にあるものは、時代が変わってきて、生涯スポーツの推進を目指しているのでもいいか。年齢をとってスポーツはできてないが、やってもらいたいという思いがあると思うので、そのあたりが出てくるような、問い方でないといけないのではないか。

### 【事務局】

前回の基本計画を策定したときからいけば、時代も変わってきているので、いろいろ変える必要がある。しかし、あまりアンケートの内容が変わりすぎるとまた問題も出てくると思うので、そういう流れでいければいいと思うので、注釈をつけたうえで、複数回答とさせていただきますということで実施したい。

## 会議経過及び会議結果

### 【A委員】

必要性のところはかっこつけをして、別にしたほうがいいのではないか。

### 【E委員】

このアンケートは、このままの形で送付されるのか。

### 【A委員】

回答用紙とか別になるのか。

### 【事務局】

回答用紙や別表とかは別紙にします。

### 【E委員】

別表1の小学校区の表だが、この表ならアンケートの設問の用紙の空スペースに記載できるのではないか。別紙にすると、視線が分散され、見にくくなる。また、別表2のスポーツの一覧も前回との比較があって、このような表になっていると思うが、同じような種目が並んで選びにくいし、理解しづらい。回答用紙も書きづらいと思いながら、回答してみた。回答欄や選択肢にわかりづらいところがあるので、もう少し簡潔に答えやすい工夫をしてもらいたい。

### 【事務局】

回答用紙については、検討します。

別表1については、アンケートの設問の下に表をいれて対応する。別表2、回答用紙については、別紙にして見やすいものにする。

### 【C委員】

スポーツの定義については、前回のアンケート時とは考え方が大きく変わっているので、そのあたりの整合性はとらなくていいのか。

### 【A委員】

内容の中には支えるスポーツが入っているというところか。

### 【C委員】

前回の基本方針には、「楽しもう！わたしのスポーツ」に、ウォーキング、試合応援、運営だってスポーツ。無理をせず、気軽にスポーツを楽しみましょうと書いてある。そのあたりとの整合性は取らなくていいのか。

今回それを外すのであれば、設問のスポーツ観戦はあまり意味がないと思う。スポーツの定義になかに、体を動かすことだけが定義とするのであれば、スポーツ観戦をアンケートの中で聞かなくてもいいのではないか。

前回作った基本計画には、そう記載しているのに今回は除けるのはどうか。

### 【事務局】

基本的には、前計画のなかのP3に記載しているスポーツの定義というところを基に、アンケートの定義を作成している。

スポーツの実施率というところでは、国の数値があるので、それに対して、高松市の数値がどれぐらいかを知るためには、数値の根拠である、国のアンケート内容とある程度合わせておく必要があるのではないかと思い、今回はそのようにしている。

スポーツの振興というところでは、支えるスポーツは必要になってくるので、計画を作る段階でスポーツ観戦も含めて振興していく必要があるので、アンケートとしては、実施をしたい。

## 会議経過及び会議結果

### 【A委員】

前回のときも支えるスポーツが大事だということをお話した。今後は積極的にとらえようという雰囲気があった。支えるスポーツを大事にしようという気持ちは委員のみなさん持っていると思うので、観戦もボランティアも含まれている、今回のアンケート内容も必要ではないか。

その際の最初にくる、スポーツの定義については、国の定義にならって体を使ったものが定義だとしたい。

### 【事務局】

国のアンケートの回答と、市のアンケートの定義を合わせて、意見を吸い上げたいということがあり、定義を合わせている。ただ、高松市としての定義の中には、スポーツ観戦などの支えるスポーツも含めていきたいと思っておりますので、アンケートの中身についてはそのようにしている。

### 【B委員】

今のスポーツの振興と生活を豊かにするという観点からみると、見るスポーツもすごく大事なことだと思う。最近では、サッカーの応援も意味のあることになってきている。

### 【A委員】

例えば、本調査におけるP1のスポーツの定義については、「広範囲の活動をいう」の文言のあとに、「見るスポーツ、支えるスポーツの重要性も言われています」とかの言葉を付け加えてもいいのではないかと。加えることで、高松市としてはそれも大切にしていることをメッセージとして伝えられたらいいのではないかと。

### 【事務局】

定義については記載しているとおりだが、そのほかにも高松市のスポーツ振興として、アンケートを実施するにあたって、こういう形での重要性も定義の下に入れて、注釈としたうえで、アンケートに入らせていただく形をとりたい。

### 【D委員】

VIの「スポーツ行事等について」だが、(3)のスポーツ推進委員の設問については、地区によったら男女ともスポーツ推進委員のいない地区が1地区あるが、そういうところはこの設問に回答ができない。そういうところはどうか対処するのか。

### 【C委員】

1つだけの地区のために設問文を変えるわけにはいかないのではないかと。男女ともいない地区については、回答を空けておくしかないのではないかと。

今は「小学校区にスポーツ推進委員がいることを知っていますか」という設問になっているので、小学校区をのけて、「スポーツ推進委員を知っていますか」という設問にしたらどうか。

### 【F委員】

新校区になっているところは、運動会等の学校行事は、一緒に実施しているので、知っているのではないかと。

### 【D委員】

新校区になった地区でも地区体育協会はそのまま存続しているので、旧小学校を母体として活動しているので、小学校は一緒になっているが、自治会活動は別で行っている。

## 会議経過及び会議結果

### 【F委員】

小学校の運動会とかを一緒にやっているの、そこにスポーツ推進委員がきて活動していれば、知っている人もいるのではないか。スポーツ推進委員がいない校区だけで考えなくてもいいのではないか。知っているかどうかを聞く設問なので、校区にいるかいないかは関係ないのではないか。

### 【G委員】

地区体育協会は、複数の地区が一緒になって一つの小学校区になっているところもあるし、地区体育協会の一つだが、小学校区が複数あるところもあり、いろいろなパターンがある。

### 【F委員】

「スポーツ推進委員を知っていますか」という設問なので、答えるのに困ることはないと思う。

### 【事務局】

小学校区については、住んでいる校区というところで認識してもらえれば特に問題はないかと思う。

聞き方にも問題があって、体育協会の設問は地域にと聞いているが、スポーツ推進委員の設問については、小学校区（別表1）でという聞き方になっているので、別表1を御覧いただき回答するような表現にさせていただきたい。

### 【G委員】

別表1の数字に誤りがあるので訂正してほしい。

### 【H委員】

それぞれの区域を分けるのに、地域、校区、地区といういろいろな言葉を使っている。回答がしやすいように、(2)の体育協会の設問の中にある、地域の表現を、地域（地区）としたほうがわかりやすいのではないか。この設問は、地区体育協会のことを指していると思うので、そういう表現にしてはどうか。その下の(3)スポーツ推進委員の設問については、スポーツ推進委員という言葉は、スポーツの精通している人は知っていると思うが、旧名称の体育指導委員というものを足したほうが回答しやすいのではないか。また、(4)の「地域対抗スポーツ大会について」は、1～6までは高松市とついているが、7の大会については、小学校区対抗競技大会ではわかりにくいので、「高松市民スポーツフェスティバル」と入れた方がいいのではないか。

### 【G委員】

先程の、地域（地区）と言われていましたが、普段、校区や地区で活動しているので、校区（地区）ではいけないのでしょうか。

### 【H委員】

他の言い方をすれば、地域に地区体育協会が、というような記載にしてもいいのではないか。

### 【D委員】

地区体育協会の名称は、地区体育協会もあれば、校区体育協会もある。Ⅵの(4)「地域対抗スポーツ大会について」の1～6については、地区体育協会の主催の大会で、7は高松市民スポーツフェスティバルで、これだと参加したことがある人はわかると思うが、何気なく、頼まれて参加をした人にはわかりにくいのではないか。

会議経過及び会議結果

【G委員】

(2) 体育協会の設問は、地域に地区体育協会と校区体育協会という記載にしてはどうか。

【C委員】

地区と校区の両方を記載しないといけない。

【事務局】

先程、御意見のあった、「地域に地区（校区）体育協会があることを知っていますか」という記載のほうがいいのではないかと。

【D委員】

そのほうが、普段スポーツをしない人にはわかりやすいので、そのほうがいいと思う。

【事務局】

カッコを入れるのは、地区の前がいいか、校区の前がいいか。

【G委員】

地区（校区）の記載の仕方でもいいと思う。

【D委員】

(3) スポーツ推進委員の設問も、記載方法を揃えないといけないのではないかと。

【事務局】

地域（地区・校区）に変更するのは可能だと思う。

【D委員】

新統合校区については、いろいろなじみがあって、なかなか一緒になれないところがある。

【事務局】

たとえば、小学校区を別表1で記載しているが、小学校区として、新統合校区については、旧校区というカッコ表記で記載してはどうか。

【D委員】

市民スポーツフェスティバルもそうだが、新統合校で出るか、各地区体協で出るか、どちらかを選択できる。各地区住民の温度差もだいぶ違いがあり、地区の中でも住人の年齢差が大きい。できれば、地区体協、スポーツ推進委員とするのなら、新統合校区のくくりを除けてもらったほうがいい。

【事務局】

旧地区表記の方がいいか。

【D委員】

スポーツ推進委員も各旧校区にいるので、旧校区名称の方がいい。



## 会議経過及び会議結果

### 【事務局】

別表1については、基本情報のところにも設問がありますので、新統合校については、新統合校区というくくりは残して、旧小学校区表記に番号をふって、その中で住んでいる校区を選んでもらうようにすれば、新校区も旧校区も選択できるかなと思う。そのあとのVIの設問のところも番号で選択できるようになる。

「VI. スポーツ行事等について」の(3)のスポーツ推進委員の設問については、文言としては、「あなたが住んでいる(別表1)」という記載の仕方にして、回答するか方に選択していただくようにしたほうがいいのではないか。

そうなると、別表1については、基本情報の中に記載するとしていましたが、VIの設問にも使用しますので、別紙に、別表1・別表2を記載するようにする。

### 【A委員】

VIの(4)地域対抗スポーツ大会の設問については、このままの記載でいいか。

### 【事務局】

7の小学校区対抗競技については、小学校区対抗競技の後ろに高松市民スポーツフェスティバルを入れるのでいいか。

### 【A委員】

前につけた方がいいのではないか。

### 【D委員】

参加したことがある方は、市民スポーツフェスティバルに出たことがあるとわかるが、1～6は地区体協の主催事業だが、出たことがある人でも、地区体協主催の事業だとは知らないと思う。小学校区対抗競技については、市民スポーツフェスティバルを入れたほうがいいと思う。

### 【G委員】

スポーツの定義についてですが、P1のところ定義に記載しているが、IIの(1)の「この1年間にスポーツ活動を行いましたか」の設問のスポーツ活動のあとに、定義の中に記載している、「散歩やジョギング、軽い体操、レクリエーション活動等身体を使った運動すべてを含む」をいれたほうが、わかりやすく、より答えやすいのではないか。

### 【A委員】

スポーツの定義のところには書いているが、ここでも改めて書いてあるほうが、よりわかりやすいのではないか。2回、定義を記載する必要はないかもしれないが。

### 【G委員】

この定義の言い方がわかりやすいので、設問にもいれたらいいと思うが、定義のところと2回いうことはないと思う。

### 【事務局】

スポーツ活動(散歩やジョギング、軽い体操、レクリエーション活動等身体を使った運動すべてを含む)という記載でどうか。

### 【A委員】

その記載の仕方でいいと思う。

アンケートの内容については、事務局で修正し、文面については一任してもらい決定し、4月上旬にアンケートを実施したいと思う。

## 会議経過及び会議結果

### イ 高松市スポーツ推進計画基本方針（案）について

#### 【A委員】

基本方針については、前回の5つの基本方針に沿った形のを継承している。この方針については、国のスポーツ振興基本計画に沿ったものだったと思う。前回は国の流れで5つの区分けをした。その中で基本施策のなかでは、新たに2項目が増えるということではないか。いろいろな御意見をいただけたらと思う。

各施策の中に今回追加しているものについて、具体的なイメージを教えてください。

#### 【事務局】

2020東京オリンピック・パラリンピックに向けて、事前合宿の誘致などを行っていきたいと思っている。国が、それに伴って、地域の方達に、選手を含め観戦に来た外国人などにおもてなしをしようという計画を出している。市としても、こういった形でそれに答えられるかを踏まえて考えていきたいと思う。アンケートの中にもオリンピック・パラリンピックのこの設問もありますので、結果を踏まえて整理していきたいと思う。細かいところについては、現時点で想定される施策をいれておりますので、アンケート結果を基に検討、見直しをしていく必要があると思う。

障がい者スポーツの推進については、競技性のある障がい者のスポーツからすそ野を広げるスポーツまで幅広くあって、オリンピック・パラリンピックというところで働きかけていく中で、障がい者の方にとってのスポーツというものを取り上げていく必要があると思うし、サポートについても考えていく必要がある。そのあたりを市として取り組んでいききたいと思う。

スポーツボランティアの発掘・育成については、現在、スポーツイベントに多くの人にボランティアとして携わってもらっている。スポーツ大会にボランティアで参加をしてもらうことや、ボランティアを楽しみにしてもらって、スポーツを見るということも今回アンケートをして、今後の施策に反映させていききたいと思う。

#### 【A委員】

支えあおうの中に市民スポーツカレッジの見直しがあるので、見直しというのはどうだろうか。以前にリーダーバンクの廃止を決めた。

#### 【事務局】

スポーツカレッジについては、前回一度見直しを行った。現在は、総合型スポーツクラブに委託をして行っているが、このやり方でいいのかどうかを再度検討の必要があるのではないかと思う。アンケートの結果を踏まえて検討していききたい。

#### 【A委員】

高松市のスポーツの推進に向けて、各委員の方が、もっとこうなればいいのか、もっと力をいれてほしいところの御意見をいただきたい。

## 会議経過及び会議結果

### 【B委員】

施策一つ一つは計画の全体像になるものだが、項目はどのようなイメージで考えればいいか。計画の中にあることは市の施策として挙がっていることだが、どこで立案されるのか。方向性としてやっているだけで誰がどういうことをやるかは考えなくていいのか。

### 【A委員】

基本施策の文言と施策の文言が一緒になっている。そこがもう少し具体性あるものにならないといけないのではないかと思う。そのあたりもこれから意見をいただいきたい。

今、パラリンピックに向けて県として、障がい者スポーツ協会を立ち上げ、各種パラリンピックに相当する種目の競技団体を作ろうという動きがある。既設の協会の中にパラリンピック部門を作るところと、新たに作らないといけない種目もある。そういうところで協会への支援など普及・啓発活動も必要になってくる。障がい者スポーツへの推進の具体的な道筋はあるのかなと思う。

### 【I委員】

アンケートの内容とかの意見を聞いていて、計画については、スポーツをやっている人、携わっている人の考え方が大きいのではないか。本当は、スポーツをやっている人の人口を増やすことを考えていかないといけないが、スポーツをやっていない人とか、興味がない人をいかに取り込むかということは、健常者でも障がい者でも関係のないことだと思う。そういう人にどうやってスポーツの世界に入ってもらえるか、どうやってスポーツの良さを知ってもらえるか、競技をすることだけ、身体を動かすことだけではなくて、人とのつながりなどを通じて、スポーツの良さを伝えられるようなものになればいいと思う。全く興味がない人から見て、スポーツの魅力がわかるようなものになればいいと思う。やってる人にはそれなりの思いがあると思うので、健常者、障がい者関係なく、興味を持ってスポーツに親しんでもらえるようなものになればいいと思う。

### 【A委員】

計画には、いろいろな視点が入っているものもいいのではないか。今までスポーツをしていない人に枠が広がることはいいと思う。基本施策に挙げることで高松市として取り組んでいくことの意味表示になるので、活かしていけたらと思う。

### 【F委員】

高松市はいろいろな施設が多くあるので、恵まれている。多くの人が楽しんでスポーツをしていることは今までの効果がでているのではないか。いいところをもっとアピールして、新しい計画を立ててほしいと思う。トリムの祭典も年々一般参加の人が減っていると思う。中高生とか、部活に入っていない青少年が参加できるようなイベントがあればいいと思う。

### 【A委員】

イベントとかでも参加する人が決まってきているところが、問題になってくる。参加者の枠を広げていくことが大事だが、そこが一番難しいところだと思う。

## 会議経過及び会議結果

### 【H委員】

振興計画については、28年度以降のスポーツ推進計画は必要だ  
と思うが、27年度にどうだったか、この5年間でやらなければい  
けないことができたのか、ということを検証する必要がある。

例えば、スポーツ指導者の充実・活用というところに、リーダー  
バンクの見直しが入っていたが、廃止となったあとに、先程説明の  
あった、TASというものを市体協もやろうということになった。  
計画をするだけでなく、実践をしたかどうか、ということを検証す  
る方がさらに大事だと思うし、議論していくことも大事ではない  
か。検証して、次の計画ができるようにするべきだと思う。

### 【A委員】

計画の中で、総合的に手を広げれば広げるほど、一つ一つが薄く  
なってしまう、一つに焦点をあてて行政の力を借りてすることも大  
事だと思う。

### 【B委員】

アンケートがスポーツ実施率に関わってくるのかもしれないが、  
そこを結果として明確な方向性を出せばいいが、今回実施するア  
ンケートの結果と前回の結果との比較はできるのか。

### 【A委員】

実施率については、必ず結果が出てくると思う。その実施率をみ  
て、他の項目との比較をして、どこが足りなかったのかというもの  
を分析していかないといけないのではないかな。

### 【G委員】

今回のアンケートで出てくる数値の結果を楽しみにしている。  
中高年になってくるといろいろなスポーツ施設へ出向いていくこ  
とが少なくなっている。出向いて行っても、自分達にできる教室が  
少なくなっている。コミュニティセンター等にも同じような教室が  
あるので、コミュニティセンターの情報や活用もアンケートの中に  
入れてもいいのではないかな。

体育館に行ってバリバリスポーツをするのではなく、コミュニテ  
ィセンターの講座を利用して、健康や体力維持のために役に立てて  
もらうほうが、スポーツに関われるのではないかな。

### 【A委員】

コミュニティセンターは地域の方が多く利用するし、多彩な行事  
をしている。

### 【G委員】

コミュニティセンターもいろいろな専門の講師の先生を招いて、  
いろいろな講座や教室をしているので、そういうところを使う人が  
増えている。そういうところも中にいれてもらえたらいいと思う。

### 【A委員】

施設の整備が主体となると違ってくると思うが、スポーツの活動  
自体は幅広くとらえられるかと思う。

## 会議経過及び会議結果

### 【C委員】

スポーツ少年団の登録団員が減ってきている。理由はいろいろあると思うが、少子化の問題だけでなく、スポーツ少年団自体にも問題があるのではないかと思う。

小学生のときにスポーツに関わらない子供が、中高生、大人になってスポーツを始めることは難しいのではないか。幼稚園や小学生のときにできるだけスポーツになじむ形を作っていかないと、こういう調査をしても、結果的に数字は上がっていかないのではないか。

実際に中学校に就いてスポーツをしているのかということ、中学校での部活は強制ではないので、入らない子供もたくさんいて、子どもがスポーツに関わることが少なくなっていると思う。そういう子供たちに対して、どのようにスポーツへ関わりをもってもらうように仕向けていくかということが、少年団の今後の課題かなと思う。

### 【A委員】

市民のスポーツ実施率を上げるということは、子供のときからスポーツになじむ環境づくりをすることが大事ではないか。スポーツをしない子供たちにスポーツをする枠を広げるには、どうアプローチしていくのか。やはり子供のころからやらないといけないというところでつながっているのではないか。

### 【E委員】

ボランティア活動についてですが、マラソン大会等に参加すると、地域の方がいろいろな地元の食材でおもてなしをしてくれる。地元の人が協力してくれ、人に触れ合える大会を探していくようになった。そういう大会が高松でもできないか。インターネットにボランティア募集をすれば、たくさん応募がある。東京マラソンは、ランナーの抽選に落ちたら、ボランティアとして、参加している人がたくさんいる。

### 【A委員】

地域愛というか、そういうのがあって、地域を高めていこうというように、高松のいいイメージにつながっていくのではないか。

### 【D委員】

見つけようの中で、高松市もハード面は整備されてきている。

行事やイベントについては、広報たかまつに情報を掲載するとそれで終わりみたいになってしまっているのではないか。情報発信という中では、いろいろなところへ出て行って、情報を細かく伝えていくことも大事ではないか。そうすることが、地区体協、スポ推の情報発信の仕事ではないか。広報たかまつの文字も小さいので、読まなくなってきた。スポーツをしている人はスポ推を知っているが、していない人は知らない、制度自体あることを知らないというのが、前回のアンケートの結果だった。

競技団体は競技者だけが対象でなく、スポーツをやらない人に対して、いろんなPRをしてもらいたい。その際には、市からの助成をだしてもらおうとかが必要だと思う。素人の人が入りやすいようにしてもらいたい。

## 会議経過及び会議結果

### 【A委員】

普段スポーツをしていない人にいかにスポーツをするように広げていくかが、中核の問題だと思う。東京オリンピックのころには、地域にスポーツクラブはほとんどなかった。行政主体でいろいろな教室を開き、人を集めて協会を作った。今は、スポーツする人、しない人の格差ができています。スポーツの情報を発信したり、いろいろな人に声をかけてまわる仕組みがどこの団体でも弱くなっているのかと思う。

いろいろな委員さんの意見をいただいて、高松の街が元気になっていくような、基本方針を作っていければと思う。